

令和7年度
「我が国における地球観測の実施計画」

令和8年2月6日
科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
地球観測推進部会

令和7年度「我が国における地球観測の実施計画」 目次

実施項目	関連府省庁	ページ
Ⅲ. データバリューチェーンの実現に向けた我が国の取組の方向性		
1. データバリューチェーンを通じた地球観測の利活用の促進 (1) データバリューチェーンの意義 (2) データ共有の仕組みとプラットフォームの在り方 (3) オープンデータと情報管理	総務省、文部科学省、経済産業省、 気象庁、環境省	4
2. 最先端の科学技術イノベーションに基づく地球観測の利活用の促進 (1) デジタルツインやAI等のデジタル技術の活用 (2) 科学技術の活用・発展 (3) 気候予測データの創出・高度化に向けた環境整備	総務省、文部科学省、経済産業省、 気象庁、環境省	4
3. 持続可能な地球観測の推進 (1) 地球観測インフラの着実な整備 (2) 地球観測人材の育成 (3) 地理空間情報の整備	総務省、文部科学省、経済産業省、 国土交通省、国土地理院、気象庁、 海上保安庁、環境省	6
4. 国際協力を通じた我が国の地球観測分野のリーダーシップの発揮 (1) 地球規模課題解決への協力 (2) GEOへの協力	文部科学省、経済産業省、国土交通 省、気象庁、環境省	7
5. 我が国の地球観測システムの推進体制・組織等 (1) 地球観測の推進体制 (2) 関係府省・組織の連携 (3) 地域における地球観測データの利活用の促進	文部科学省、気象庁、環境省	8
Ⅳ. 分野別の地球観測		
1. 気候変動		
温室効果ガスや短寿命気候強制因子(SLCF)をはじめとした大気環境物質やそれら排出量等の変化に伴う気候の変化を継続的、包括的に観測し、地球温暖化プロセスの理解向上。	総務省、文部科学省、農林水産省、 林野庁、経済産業省、気象庁、環境 省	8
極域における気候変動に伴う海氷融解等による海面上昇や深海を含む海洋環境の変化、森林火災、これらの現象が大気圏等に与える影響を全球規模で継続的に監視	総務省、文部科学省、経済産業省、 気象庁、海上保安庁、環境省	10
観測成果を、高度な予測モデルと結びつけ、最新の気候予測データの提供等や、観測に基づき計算した温室効果ガス排出量の情報発信による国際貢献	文部科学省	12
企業における地球観測データや気候予測データを活用した気候変動対策を進めるためには、データ提供者側と企業等のエンドユーザー、民間セクターを中心とした主体の役割の拡大	文部科学省	13
2. 防災・減災		
地震・火山活動等やその発生場に対して安定的な観測を長期にわたって維持、継続し、得られたデータを共有するとともに、新しい観測技術の開発や新たな地球観測データを用いた研究を推進	気象庁	13
災害発生時の被害の最小化や効率的な復旧・復興のため、継続的かつ迅速な地球観測により、地震、津波の早期検知や発生後の被災状況の早期把握	文部科学省、国土交通省、気象庁	14
地震や地殻変動、火山活動、津波、気象等を継続的に観測するためのインフラを計画的に整備し、観測精度を高めるための研究開発を継続	総務省、文部科学省、国土交通省	15
災害に関する地球観測データや予測データ等の地球インテリジェンスの創出における連携	総務省、文部科学省	15
地球観測データとの統合により、気候予測に基づくハザード統合モデルの開発を進め、創出された災害の予測データを、国や地方公共団体に速やかに共有することにより、予防的な防災・減災対策に貢献	総務省、文部科学省	16
3. 生物多様性・生態系の保全		
関係府省や専門家、生物多様性・生態系の観測ネットワーク等が協力し、植生等の基盤情報の更新を含む、日本国内の多様な環境における生物多様性・生態系に関する観測網を構築し、モニタリングを迅速かつ着実にを行い、データを取得、集約、蓄積、公開	総務省、文部科学省、農林水産省、 林野庁、水産庁、経済産業省、環境 省	16

4. 海洋環境の保全		
船舶、漂流フロート、係留系、衛星及びその他の海洋観測プラットフォームを活用し、包括的かつ継続的な全球海洋観測を実施するとともに、更に観測技術を効率化・高度化。また、国際プログラムへの参画を継続し、その中での我が国の役割を完遂	文部科学省、気象庁、環境省	18
水海域や深海をはじめとするデータ空白域において、物理学的、生物地球化学的、生態学的な海洋特性の観測を強化	文部科学省、海上保安庁、環境省	19
多様な地球観測データと高度なシミュレーション技術を融合して構築する海洋デジタルツインの研究開発等	文部科学省	19
5. 食料・農林水産物の確保		
衛星等を用いて、農作物の作付け状況や農地やその周辺における土地利用、病虫害や水環境等の状況、無断伐採も含めた森林等の管理状況を把握し、生産者等へのそれらの情報を共有	文部科学省、農林水産省、水産庁	20
過去の生産量等の推移や気候予測とを組み合わせ、農作物の生産量や農地の利用状況等について、将来の変化の予測につなげ、それに基づく対策を実施することにより、生産量の拡大やより適切な農地の活用	農林水産省	21
水産資源の量や分布、魚種交代、漁場環境や水質、有害生物等の把握のための地球観測を継続的に進めるとともに、これらの地球観測データと気候予測データとを組み合わせ、近年の水温上昇や異常気象等を踏まえた適切な水産資源管理に向けた取組	文部科学省、水産庁	21
6. 水循環・水資源管理		
降水量、河川流量、地下水位や揚水量、土壌水分量、水質等を地上観測ネットワーク、衛星観測と数値モデルの統合利用によって、効率的な治水・利水、効果的な水災害の防止の実現	総務省、文部科学省、国土交通省	21
グローバルな水資源の確保への貢献に向け、アジアモンスーン域を含めた開発途上国とともに、水循環・水資源の観測に関する国際協力を進め、水循環メカニズムの解明に加え、これらの地域における水資源の確保や水災害の防止等への利活用を進めるための能力構築支援	文部科学省	21
7. エネルギー・鉱物資源の確保		
我が国周辺に天然に賦存する海洋由来のエネルギー(メタンハイドレート等)や鉱物資源(海底熱水鉱床、コバルトリッチクラスト等)等の海底資源の賦存量を明らかにし、海底地形など周辺環境を十分に把握した上で、環境負荷の少ない資源開発の実現	文部科学省	21
日射量や風況、海況、地熱等の地球観測の成果を、再生可能エネルギーの事前評価に活用し導入を促進	文部科学省	21
8. 健康・汚染		
感染症や媒介生物の出現状況、エアロゾルや黄砂を含めたグローバルな大気汚染物質の発生、拡散の状況、ヒートアイランドの実態等の把握に向けた衛星観測や現場観測を実施	総務省、文部科学省、気象庁、環境省	21
地球観測データや予測データを、国や地方公共団体の公衆衛生担当部局や、公衆衛生等の専門家に速やかに共有し、迅速な感染症等の予防や汚染対策に活用できる体制を整備するとともに、地球観測と公衆衛生等の専門家が協働して、異なる分野での相乗的な効果を促進させるための地球インテリジェンスの創出に向けた取組	総務省、気象庁	22

【2期】今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度(令和7年度)の我が国における地球観測の実施計画

第2期実施方針における対応項目	監視番号	西暦	実施方針に資する項目(取組の概要)	項目(課題)の進捗状況		観測対象	観測手段	観測地域・観測地点	観測頻度	所有者(法人・機関名)	事業名(予算費目)	令和7年度予算額(百万円)	令和7年度に実施予定の取組	新規/拡充/廃止	計画期間 開始年度 終了年度	データに関する問合せ先URL	関連機関	関連目標	備考欄	
				観測開始	観測終了															
「持続可能な地球観測の推進」 (1) 地球観測システムの多様な構築 (2) 地球観測人材の育成 (3) 地球空間情報整備	39	再掲	海外観測 表裏対称型日射観測装置による海外観測及びデータ提供を継続する。	○	○	海外観測	地上	全国(1箇所)	毎月(1回)	気象庁	海外観測日観測	1	引き続き表裏対称型日射観測装置による海外観測及びデータ提供を実施する。	H2	-	-	-	-	世界気象観測(WMO)の全球大気観測(GAW)計画に基づく観測	
	40	再掲	ヨーロッパ観測 スカイラスタナールによるヨーロッパ観測及びデータ提供を継続する。	○	○	ヨーロッパ観測	海上	全国(1箇所)	10分(1回)	気象庁	大気/バックグラウンド汚染観測	1	引き続きスカイラスタナールによるヨーロッパ観測及びデータ提供を実施する。	H20	-	-	-	-	世界気象観測(WMO)の全球大気観測(GAW)計画に基づく観測	
	41	再掲	日射観測 日射計及び放射計による日射放射観測及びデータ提供を継続する。	○	○	日射及び放射計	海上	全国(1箇所)	毎月	気象庁	日射観測	3	引き続き日射計及び放射計による日射放射観測及びデータ提供を実施する。	H31	-	-	-	-	世界気象観測(WMO)の世界気候研究計画(GCRP)の主要なサブプログラムである観測計画(GEMEX)に基づく観測	
	42	再掲	世界気象観測(WMO)温室効果ガス世界資料センター(WGOSG)の運営 WMOのデータセンターとして、世界全体の温室効果ガス等のデータの収集・提供及び観測データの信頼性の向上を図る。	○	○	温室効果ガス等	-	-	-	気象庁	温室効果ガス世界資料センター業務	0.7	引き続き世界の温室効果ガス等のデータの収集・提供及び観測データの信頼性の向上を図る。	H2	-	-	-	-	世界気象観測(WMO)の全球大気観測(GAW)計画に基づく観測	
	43	再掲	世界気象観測(WMO)品質保証科学センター(GA-SAC)の運営 アジア・南西太平洋地域の観測データの品質管理、観測継続維持のための技術指導等を実施して行く。	○	○	温室効果ガス等	-	-	-	気象庁	品質保証科学センター業務	0.2	引き続きアジア・南西太平洋の温室効果ガス等の観測データの品質管理、観測継続維持のための技術指導等を実施する。	H7	-	-	-	-	世界気象観測(WMO)の全球大気観測(GAW)計画に基づく観測	
	44	再掲	世界気象観測(WMO)全球大気観測校正センター(WGOC)の運営 アジア・南西太平洋の観測データの観測標準の維持、比較校正等を実施して行く。	○	○	温室効果ガス等	-	-	-	気象庁	品質保証科学センター業務	0.2	引き続きアジア・南西太平洋の観測データの観測標準の維持、比較校正等を実施する。	H14	-	-	-	-	世界気象観測(WMO)の全球大気観測(GAW)計画に基づく観測	
	45	再掲	観測データ GHG等の測定のために国際的な温度比較や標準化を行う	○	○	温室効果ガス各種	-	-	-	国研(地球環境研究所)	1. 地球環境の観測データセンター(観測データセンター)の運営 2. 2178の観測データセンターの運営	1. 10の内訳 2. 2178の内訳	観測データセンターの運営・観測データの観測標準の維持、比較校正等を実施する。	H2	-	-	-	-	IPCC国連比較の参加 欧州Spaceプロジェクトへの参加	
	46	再掲	観測データ 観測データの信頼性の向上を図る	○	○	観測データ	地上	全国(1箇所)	毎月	気象庁	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	H17	-	-	-	-	観測データの信頼性の向上を図る	
	47	再掲	観測データ 観測データの信頼性の向上を図る	○	○	観測データ	海上	全国(1箇所)	毎月	気象庁	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	H12	-	-	-	-	観測データの信頼性の向上を図る	
	48	再掲	観測データ 観測データの信頼性の向上を図る	○	○	観測データ	海上	全国(1箇所)	毎月	気象庁	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	H16	-	-	-	-	観測データの信頼性の向上を図る	
	49	再掲	観測データ 観測データの信頼性の向上を図る	○	○	観測データ	海上	全国(1箇所)	毎月	気象庁	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	H20	-	-	-	-	観測データの信頼性の向上を図る	
	50	再掲	観測データ 観測データの信頼性の向上を図る	○	○	観測データ	海上	全国(1箇所)	毎月	気象庁	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	H14	R03	-	-	-	-	観測データの信頼性の向上を図る
	51	再掲	観測データ 観測データの信頼性の向上を図る	○	○	観測データ	海上	全国(1箇所)	毎月	気象庁	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	H3	R12	-	-	-	-	観測データの信頼性の向上を図る
	52	再掲	観測データ 観測データの信頼性の向上を図る	○	○	観測データ	海上	全国(1箇所)	毎月	気象庁	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	H14	R03	-	-	-	-	観測データの信頼性の向上を図る
	53	再掲	観測データ 観測データの信頼性の向上を図る	○	○	観測データ	海上	全国(1箇所)	毎月	気象庁	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	H14	R03	-	-	-	-	観測データの信頼性の向上を図る
	54	再掲	観測データ 観測データの信頼性の向上を図る	○	○	観測データ	海上	全国(1箇所)	毎月	気象庁	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	H17	-	-	-	-	-	観測データの信頼性の向上を図る
	55	再掲	観測データ 観測データの信頼性の向上を図る	○	○	観測データ	海上	全国(1箇所)	毎月	気象庁	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	H20	-	-	-	-	-	観測データの信頼性の向上を図る
	56	再掲	観測データ 観測データの信頼性の向上を図る	○	○	観測データ	海上	全国(1箇所)	毎月	気象庁	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	H17	-	-	-	-	-	観測データの信頼性の向上を図る
	57	再掲	観測データ 観測データの信頼性の向上を図る	○	○	観測データ	海上	全国(1箇所)	毎月	気象庁	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	H2	-	-	-	-	-	観測データの信頼性の向上を図る
	58	再掲	観測データ 観測データの信頼性の向上を図る	○	○	観測データ	海上	全国(1箇所)	毎月	気象庁	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	H28	-	-	-	-	-	観測データの信頼性の向上を図る
59	再掲	観測データ 観測データの信頼性の向上を図る	○	○	観測データ	海上	全国(1箇所)	毎月	気象庁	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	観測データの信頼性の向上を図る	H17	-	-	-	-	-	観測データの信頼性の向上を図る	

【2】「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度(令和7年度)の我が国における地球観測の実施計画

第2期実施方針における対応項目	観測番号	再掲	実施方針に資する項目(取組の概要)	項目の再掲		観測対象	観測手段	観測地域	観測頻度	所有者(学術機関)	事業名(予算費目)	令和7年度予算額(百万円)	令和7年度に実施予定の取組		新種/拡充	計画期間	データに関する問合せ先URL	関連機関	関連目録	備考欄
				観測頻度	観測手段								終了年度	観測年度						
1. 我が国の地球観測システムの確立体制・組織等 (1) 観測体制の整備 (2) 観測体制・組織の連携 (3) 地域における地球観測ネットワークの活用促進	100	再掲	温室効果ガス-水蒸気循環観測衛星(GOSAT-GW)継続的な水蒸気観測システム構築を推進するため、GOSAT-2の後継機であり、高精度・高感度・高頻度・高解像度観測衛星(GOSAT-GW)の開発、観測及びデータ活用を推進する。	○	○	二酸化炭素、メタン、一酸化窒素等	衛星	全球	全球 3日1回1日	国研院(国立環境研究所)	1. GOSATシリーズによる地球観測事業 2. 温室効果ガス観測技術センターによる観測技術に関する排出量検証に向けた技術高度化事業 3. 衛星観測に関する事業(運賃交付金の一部)	135の内数 2,178の内数 3,156の内数	宇宙基本計画及び工程表に基づき、GOSAT-GW打ち上げを実施し、早期のデータ提供を開始を目指す。	H00	-	https://www.gosat-nies.go.jp/index.html https://www.gosat-nies.go.jp/en/	○	9.11.13.18.17		
	101	再掲	地球環境モニタリング事業 気候変動総合プラットフォームをもちいて、大気、海洋、陸域の温暖化に係る物理気候変動と生態系との連鎖に連鎖的に対応した地球環境モニタリング事業の推進を図る。	○	○	CO2濃度、エアロゾル等	衛星	全球	全球 3日1回1日	国研院(国立環境研究所)	1. GOSATシリーズによる地球観測事業 2. 温室効果ガス観測技術センターによる観測技術に関する排出量検証に向けた技術高度化事業 3. 衛星観測に関する事業(運賃交付金の一部)	135の内数 2,178の内数 3,156の内数	地球環境モニタリング事業を引き続き実施予定。	H2	-	https://www.gosat-nies.go.jp/index.html	○	9.11.13.18.17	国研院(国立環境研究所)の地球環境モニタリング事業(運賃交付金)を参照。	
	102	再掲	温室効果ガス観測技術衛星(GOSAT-2)による観測精度の向上を図るため、大気中・大気圏外観測単位での排出量の測定を行い、各国の温室効果ガス観測技術センターとの連携を強化し、データ提供を継続する。	○	○	二酸化炭素、メタン等	衛星	全球	全球 3日1回1日	国研院(国立環境研究所)	1. GOSATシリーズによる地球観測事業 2. 温室効果ガス観測技術センターによる観測技術に関する排出量検証に向けた技術高度化事業 3. 衛星観測に関する事業(運賃交付金の一部)	135の内数 2,178の内数 3,156の内数	GOSAT-2による観測精度の向上を図るため、大気中・大気圏外観測単位での排出量の測定を行い、各国の温室効果ガス観測技術センターとの連携を強化し、データ提供を継続する。	H18	-	https://www.gosat-nies.go.jp/index.html	○	9.11.13.18.17	国立環境研究所GOSAT-2研究センターで、研究機関・大学が共同研究を実施。研究内容はGOSAT-GW、GOSAT-2、OCO-2に関する調査を交わしている。	
	103	再掲	温室効果ガス観測技術衛星(GOSAT-2)による観測精度の向上を図るため、大気中・大気圏外観測単位での排出量の測定を行い、各国の温室効果ガス観測技術センターとの連携を強化し、データ提供を継続する。	○	○	二酸化炭素、メタン、一酸化窒素、エアロゾル等	衛星	全球	全球 3日1回1日	国研院(国立環境研究所)	1. GOSATシリーズによる地球観測事業 2. 温室効果ガス観測技術センターによる観測技術に関する排出量検証に向けた技術高度化事業 3. 衛星観測に関する事業(運賃交付金の一部)	135の内数 2,178の内数 3,156の内数	GOSAT-2の観測プログラムに対して観測精度の向上を図るため、大気中・大気圏外観測単位での排出量の測定を行い、各国の温室効果ガス観測技術センターとの連携を強化し、データ提供を継続する。	H24	-	https://www.gosat-nies.go.jp/index.html	○	9.11.13.18.17	*2024年度からGOSAT-GW2に搭載された観測機器の性能向上による観測精度の向上を図るため、大気中・大気圏外観測単位での排出量の測定を行い、各国の温室効果ガス観測技術センターとの連携を強化し、データ提供を継続する。	
	104	再掲	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業 地球環境データ統合プラットフォームをもちいて、大気、海洋、陸域の温暖化に係る物理気候変動と生態系との連鎖に連鎖的に対応した地球環境モニタリング事業の推進を図る。	○	○	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	文部科学省	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	379	DASの運用を行うとともに、DASの所収・高精度化の検証を行う。	R3	R12	DASホームページ http://www.dasnet/	○	23.6.7.11.13.14					
	105	再掲	温室効果ガス観測技術衛星(GOSAT-2)による観測精度の向上を図るため、大気中・大気圏外観測単位での排出量の測定を行い、各国の温室効果ガス観測技術センターとの連携を強化し、データ提供を継続する。	○	○	温室効果ガス等	海上	国内・近海	連続観測	大気ハックランド汚染観測	362	-	-	-	-	-	-	-	世界気象機関(WMO)の全球大気監視(GAW)計画に基づく観測	
	106	再掲	オゾン観測 オゾン分光放射計及びオゾンゾンダによるオゾン観測及びデータ提供を継続する。	○	○	オゾン	海上	国際	観測日 毎日 ゾンダ 週1回	真珠湾観測	332	-	-	-	-	-	-	-	世界気象機関(WMO)の全球大気監視(GAW)計画に基づく観測	
	107	再掲	放射線観測 放射線観測衛星搭載放射線観測器による放射線観測及びデータ提供を継続する。	○	○	放射線	海上	国際	観測日 毎日	真珠湾観測	31	-	-	-	-	-	-	-	世界気象機関(WMO)の全球大気監視(GAW)計画に基づく観測	
	108	再掲	エーロル観測 スカラゾンメーターによるエーロル観測及びデータ提供を継続する。	○	○	エーロル	海上	国際	10分1回	大気ハックランド汚染観測	330	-	-	-	-	-	-	-	世界気象機関(WMO)の全球大気監視(GAW)計画に基づく観測	
	109	再掲	目撃計観測 目撃計及び放射計による目撃計観測及びデータ提供を継続する。	○	○	目撃計及び放射計	海上	国際	観測日 毎日	真珠湾観測	331	-	-	-	-	-	-	-	世界気象機関(WMO)の目撃計観測計画(WCRP)/全球オゾンモニター-水循環観測計画(GEKK)に基づく観測	
	110	再掲	世界気象機関(WMO)の温室効果ガス観測技術センター(WGOS)の運用 地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業 地球環境データ統合プラットフォームをもちいて、大気、海洋、陸域の温暖化に係る物理気候変動と生態系との連鎖に連鎖的に対応した地球環境モニタリング事業の推進を図る。	○	○	温室効果ガス等	海上	国際	連続観測	大気ハックランド汚染観測	362	-	-	-	-	-	-	-	世界気象機関(WMO)の全球大気監視(GAW)計画に基づく観測	
111	再掲	アジア各地の陸域生態系における熱帯水・温帯域気候システム観測点観測 アジア各地の熱帯水・温帯域気候システム観測点観測 アジア各地の熱帯水・温帯域気候システム観測点観測	○	○	熱帯水・温帯域気候システム観測点観測	地上	陸域	1000点以上	アジア各地の熱帯水・温帯域気候システム観測点観測	30	100	100	アジア各地の熱帯水・温帯域気候システム観測点観測	H2	-	https://www.asiaobs.net/	○	13.10.17	国際気候変動観測システム(IGOS)の地域ネットワークである FLONET/Phonology of Eyes Network(ASEAN/Asia Pacific Ocean Eye Network)	

【3】我が国の地球観測システムの確立体制・組織等
(1) 観測体制の整備
(2) 観測体制・組織の連携
(3) 地域における地球観測ネットワークの活用促進

112 大気中のCO2・メタン・一酸化窒素・エアロゾル等の観測を行う国際宇宙ステーション観測(GOSAT-GW)
113 大気中のCO2・メタン・一酸化窒素・エアロゾル等の観測を行う国際宇宙ステーション観測(GOSAT-GW)
114 地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業
115 地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業
116 地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業

【2】「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度（令和7年度）の我が国における地球観測の実施計画

第2期実施方針における対応項目	監視番号	再掲	実施方針に資する項目(取組の概要)	項目(課題)の進捗状況		観測対象	観測手段	観測地点	観測頻度	所有者(学名・機関名)	事業名(予算費目)	令和7年度予算額(百万円)	令和7年度に実施予定の取組		新規/拡充	計画期間		SDGs	関連目標	備考欄
				観測開始	観測終了								開始年度	終了年度		データに関する問合せ先URL	関連目標			
【民生に関する地球観測データやデータ駆動型の地球インテリジェンスの創出における連携	242	再掲	地震災害及び津波災害に係る多方向上に関する研究開発 地震及び津波に関する種々の観測データや観測データの分析、情報科学や数値シミュレーション技術の活用を通じて、地震及び津波に対する予測能力を向上させ、被害軽減のための予防的向上に関する研究開発に取り組む。	○	○	地震、津波	地震計、津波計等	全国、一部海外地域	実時	文科科学省 (財)防災科学技術研究所	国立研究開発法人防災科学技術研究所運営費交付金	運営費交付金(8,007百万円)の内訳	観測の観測データの多軸かつ高精度津波観測(N-net)の観測データの統合利用に向けての各種検討を進める。	R0	R1	https://hinetw11.bosai.go.jp/ncid/otstact.us/LAMJ/ga	11	海外展開としては、海外の研究機関が運用する広帯域地震観測網によるJFASTシステム観測データをDMPT-TSUNAMIシステムで解析し、得られた地震のメカニズム解及び津波シミュレーション結果の情報を公開。 https://www.bosai.go.jp/index.html		
	243	再掲	地震・津波の発生過程の解明とその予測 国内外の各種データや観測データを用いた地震発生メカニズムの解明と、それらモデルを用いた地震発生メカニズムの解明、情報科学や数値シミュレーション技術の活用を通じて、地震及び津波に対する予測能力を向上させ、被害軽減のための予防的向上に関する研究開発に取り組む。	○	○	地震、津波	その他(地震計、水圧計)	全国、一部海外地域	実時	文科科学省 (財)海洋研究開発機構	運営費交付金(30,380)の内訳	地震・津波の発生過程の解明と予測 地震・津波の発生過程の解明と予測 地震・津波の発生過程の解明と予測	H01.4	R0.3	https://www.jamstec.go.jp/fdata/	11	国内では、付加価値情報新世代地球観測技術研究センターが研究テーマに関する技術グループURL。 https://www.jamstec.go.jp/fdata/			
	244	再掲	火山及び地殻変動に関する研究開発 火山及び地殻変動に関する研究開発 火山及び地殻変動に関する研究開発	○	○	火山活動	傾斜計、その他(傾斜計、GPS)	全国、一部海外地域	実時	文科科学省 (財)海洋研究開発機構	運営費交付金(30,380)の内訳	火山活動に関する研究開発 火山活動に関する研究開発	H01.4	R0.3	https://www.jamstec.go.jp/fdata/	11	国内では、付加価値情報新世代地球観測技術研究センターが研究テーマに関する技術グループURL。 https://www.jamstec.go.jp/fdata/			
	245	再掲	気象データの高度活用 気象データの高度活用 気象データの高度活用	○	○	気象	雨量	日本、アジア全地域	日本(2.5分間)、アジア全(10分)	実時	文科科学省 (財)気象研究所	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構運営費	JAXA運営費交付金(12,288)の内訳	JAXA及びMONIの運用・改良とデータの提供に関することと、観測モデルでのみデータを用いるに関する研究を進める。	H27		https://www.gsis.go.jp/arc/arc/index.html	13.1.2.4		
	246	再掲	水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W) 水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W) 水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W)	○	○	降水、土壌水分、海面水温、土壌水分	雨量	全球	実時(2日)1回観測(1日)1回	文科科学省 (財)宇宙航空研究開発機構	研究開発費推進費	810	水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W)の運用・改良とデータの提供に関することと、観測モデルでのみデータを用いるに関する研究を進める。	H17		https://www.gsis.go.jp/arc/arc/index.html	13.1.2.4			
	247	再掲	災害対策のための水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W) 災害対策のための水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W) 災害対策のための水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W)	○	○	降水(雨)、土壌水分、海面水温、土壌水分、海面水温、土壌水分	雨量	全球	実時(2日)1回観測(1日)1回	文科科学省 (財)宇宙航空研究開発機構	研究開発費推進費	JAXA運営費交付金(12,288)の内訳	災害対策のための水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W)の運用・改良とデータの提供に関することと、観測モデルでのみデータを用いるに関する研究を進める。	H2		https://www.gsis.go.jp/arc/arc/index.html	13.1.2.4			
	248	再掲	衛星データを用いた水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W) 衛星データを用いた水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W) 衛星データを用いた水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W)	○	○	土壌水分、海面水温、土壌水分	雨量	日本域、全球	日本域(1時間)、全球(3時間)	文科科学省 (財)宇宙航空研究開発機構	研究開発費推進費	JAXA運営費交付金(12,288)の内訳	衛星データを用いた水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W)の運用・改良とデータの提供に関することと、観測モデルでのみデータを用いるに関する研究を進める。	H28		https://www.gsis.go.jp/arc/arc/index.html	13.1.2.4			
	249	再掲	衛星データを用いた水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W) 衛星データを用いた水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W) 衛星データを用いた水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W)	○	○	土壌水分、海面水温、土壌水分	雨量	日本域、全球	日本域(1時間)、全球(3時間)	文科科学省 (財)宇宙航空研究開発機構	研究開発費推進費	JAXA運営費交付金(12,288)の内訳	衛星データを用いた水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W)の運用・改良とデータの提供に関することと、観測モデルでのみデータを用いるに関する研究を進める。	H28		https://www.gsis.go.jp/arc/arc/index.html	13.1.2.4			
	250	再掲	衛星データを用いた水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W) 衛星データを用いた水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W) 衛星データを用いた水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W)	○	○	土壌水分、海面水温、土壌水分	雨量	日本域、全球	日本域(1時間)、全球(3時間)	文科科学省 (財)宇宙航空研究開発機構	研究開発費推進費	JAXA運営費交付金(12,288)の内訳	衛星データを用いた水圏環境観測ネットワーク(GCOM-W)の運用・改良とデータの提供に関することと、観測モデルでのみデータを用いるに関する研究を進める。	H28		https://www.gsis.go.jp/arc/arc/index.html	13.1.2.4			
	251	再掲	航空機搭載型観測ネットワーク(SAR) 航空機搭載型観測ネットワーク(SAR) 航空機搭載型観測ネットワーク(SAR)	○	○	航空機	航空機	日本域内	適宜	防衛省 (財)航空宇宙研究所	研究開発費推進費	電波伝達網の観測・分析等の推進に関する研究開発	H28		https://sar-air.mri.go.jp/	11				
	252	再掲	気象データの高度活用 気象データの高度活用 気象データの高度活用	○	○	気象	各種気象データ	日本域、アジア全地域	1時間以上	防衛省 (財)情報通信研究機構	運営費交付金の内訳	気象データの高度活用及び衛星通信に関する研究開発	H28		https://www.rind.go.jp/ftp/ftp-sensing/ja/csi/	11.3				
	253	再掲	地震災害及び津波災害に係る多方向上に関する研究開発 地震災害及び津波災害に係る多方向上に関する研究開発 地震災害及び津波災害に係る多方向上に関する研究開発	○	○	地震、津波	地震計、津波計等	全国、一部海外地域	実時	文科科学省 (財)防災科学技術研究所	国立研究開発法人防災科学技術研究所運営費交付金	運営費交付金(8,007百万円)の内訳	観測の観測データの多軸かつ高精度津波観測(N-net)の観測データの統合利用に向けての各種検討を進める。	R0	R1	https://hinetw11.bosai.go.jp/ncid/otstact.us/LAMJ/ga	11	海外展開としては、海外の研究機関が運用する広帯域地震観測網によるJFASTシステム観測データをDMPT-TSUNAMIシステムで解析し、得られた地震のメカニズム解及び津波シミュレーション結果の情報を公開。 https://www.bosai.go.jp/index.html		
	254	再掲	火山活動に関する研究開発 火山活動に関する研究開発 火山活動に関する研究開発	○	○	火山活動	地震計、傾斜計等	全国、一部海外地域	実時	文科科学省 (財)防災科学技術研究所	国立研究開発法人防災科学技術研究所運営費交付金	運営費交付金(8,007百万円)の内訳	観測の観測データの多軸かつ高精度津波観測(N-net)の観測データの統合利用に向けての各種検討を進める。	R0	R1	https://hinetw11.bosai.go.jp/ncid/otstact.us/LAMJ/ga	11	海外展開としては、海外の研究機関が運用する広帯域地震観測網によるJFASTシステム観測データをDMPT-TSUNAMIシステムで解析し、得られた地震のメカニズム解及び津波シミュレーション結果の情報を公開。 https://www.bosai.go.jp/index.html		
	255	再掲	気象データの高度活用 気象データの高度活用 気象データの高度活用	○	○	気象	レーダー	全国	実時	文科科学省 (財)防災科学技術研究所	国立研究開発法人防災科学技術研究所運営費交付金	運営費交付金(8,007百万円)の内訳	気象データの高度活用及び衛星通信に関する研究開発	R0	R1	https://www.bosai.go.jp/arc/arc/arc/index.html	11.3			
	256	再掲	気象データの高度活用 気象データの高度活用 気象データの高度活用	○	○	気象	傾斜計、雨量計等	全国、一部海外地域	実時	文科科学省 (財)防災科学技術研究所	国立研究開発法人防災科学技術研究所運営費交付金	運営費交付金(8,007百万円)の内訳	気象データの高度活用及び衛星通信に関する研究開発	R0	R1	https://www.bosai.go.jp/arc/arc/arc/index.html	11.3			
	257	再掲	地震災害及び津波災害に係る多方向上に関する研究開発 地震災害及び津波災害に係る多方向上に関する研究開発 地震災害及び津波災害に係る多方向上に関する研究開発	○	○	地震、津波	地震計、津波計等	全国、一部海外地域	実時	文科科学省 (財)防災科学技術研究所	国立研究開発法人防災科学技術研究所運営費交付金	運営費交付金(8,007百万円)の内訳	観測の観測データの多軸かつ高精度津波観測(N-net)の観測データの統合利用に向けての各種検討を進める。	R0	R1	https://hinetw11.bosai.go.jp/ncid/otstact.us/LAMJ/ga	11	海外展開としては、海外の研究機関が運用する広帯域地震観測網によるJFASTシステム観測データをDMPT-TSUNAMIシステムで解析し、得られた地震のメカニズム解及び津波シミュレーション結果の情報を公開。 https://www.bosai.go.jp/index.html		
	258	再掲	火山活動に関する研究開発 火山活動に関する研究開発 火山活動に関する研究開発	○	○	火山活動	地震計、傾斜計等	全国、一部海外地域	実時	文科科学省 (財)防災科学技術研究所	国立研究開発法人防災科学技術研究所運営費交付金	運営費交付金(8,007百万円)の内訳	観測の観測データの多軸かつ高精度津波観測(N-net)の観測データの統合利用に向けての各種検討を進める。	R0	R1	https://hinetw11.bosai.go.jp/ncid/otstact.us/LAMJ/ga	11	海外展開としては、海外の研究機関が運用する広帯域地震観測網によるJFASTシステム観測データをDMPT-TSUNAMIシステムで解析し、得られた地震のメカニズム解及び津波シミュレーション結果の情報を公開。 https://www.bosai.go.jp/index.html		
	259	再掲	気象データの高度活用 気象データの高度活用 気象データの高度活用	○	○	気象	レーダー	全国	実時	文科科学省 (財)防災科学技術研究所	国立研究開発法人防災科学技術研究所運営費交付金	運営費交付金(8,007百万円)の内訳	気象データの高度活用及び衛星通信に関する研究開発	R0	R1	https://www.bosai.go.jp/arc/arc/arc/index.html	11.3			
	260	再掲	気象データの高度活用 気象データの高度活用 気象データの高度活用	○	○	気象	傾斜計、雨量計等	全国、一部海外地域	実時	文科科学省 (財)防災科学技術研究所	国立研究開発法人防災科学技術研究所運営費交付金	運営費交付金(8,007百万円)の内訳	気象データの高度活用及び衛星通信に関する研究開発	R0	R1	https://www.bosai.go.jp/arc/arc/arc/index.html	11.3			
	261	再掲	地震災害及び津波災害に係る多方向上に関する研究開発 地震災害及び津波災害に係る多方向上に関する研究開発 地震災害及び津波災害に係る多方向上に関する研究開発	○	○	地震、津波	地震計、津波計等	全国、一部海外地域	実時	文科科学省 (財)海洋研究開発機構	運営費交付金(30,380)の内訳	地震・津波の発生過程の解明と予測 地震・津波の発生過程の解明と予測 地震・津波の発生過程の解明と予測	H01.4	R0.3	https://www.jamstec.go.jp/fdata/	11	海外展開としては、海外の研究機関が運用する広帯域地震観測網によるJFASTシステム観測データをDMPT-TSUNAMIシステムで解析し、得られた地震のメカニズム解及び津波シミュレーション結果の情報を公開。 https://www.bosai.go.jp/index.html			

【2】「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度（令和7年度）の我が国における地球観測の実施計画

第2期実施方針における対応項目	登録番号	西暦	実施方針に資する項目(取組の概要)	項目の分類			観測対象	観測手段	観測地点	観測頻度	所有者(学名)	事業名(予算費目)	令和7年度予算(百万円)	新種/拡充	計画期間	データに関する問合せ先URL	SDGs	関連目標	備考
				観測機器	観測手段	観測地点													
2	305	西暦	観測船による海洋気象観測 国際的枠組みのもとアルフローードで、海洋内の水温を高精度で観測し、海洋の循環に、観測データを活用するデータを提供する。 地球環境観測・診断・予測技術高度化に関する研究(観測船による大気気象観測船の観測機器とそのデータ処理・高度化技術の開発手法を開発し、地球環境変化の観測機器の高度化を図る)。	観測機器	観測手段	観測地点	水温、塩分	北太平洋	1回/1日/船	気象庁	気象観測船等事業	700	新種	2021年度 2022年度 2023年度	利用先URL(注1) https://www.jma.go.jp/jma/ishuou/info/param.html 利用先URL(注2) https://www.data.jma.go.jp/gho/ds/obs/obs_data/param.html/index.html 注3 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html 注4 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html	14	世界気象機関(WMO)及びユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)の枠組と連携した取組		
	306	西暦	アルフローード(中層フロート)による高緯度観測 国際的枠組みのもとアルフローードで、海洋内の水温を高精度で観測し、海洋の循環に、観測データを活用するデータを提供する。	観測機器	観測手段	観測地点	水温、塩分	北太平洋	1回/1日/船	気象庁	気象観測船等事業	700	新種	2021年度 2022年度 2023年度	利用先URL(注1) https://www.jma.go.jp/jma/ishuou/info/param.html 利用先URL(注2) https://www.data.jma.go.jp/gho/ds/obs/obs_data/param.html/index.html 注3 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html 注4 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html	14	世界気象機関(WMO)及びユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)の枠組と連携した取組		
	307	西暦	地球環境観測・診断・予測技術高度化に関する研究(観測船による大気気象観測船の観測機器とそのデータ処理・高度化技術の開発手法を開発し、地球環境変化の観測機器の高度化を図る)。	観測機器	観測手段	観測地点	大気中の温室効果ガス、気象、塩分、温室効果ガス、大気中の温室効果ガス、大気中の温室効果ガス、大気中の温室効果ガス	北太平洋	1回/1日/船	気象庁	気象観測船等事業	700	新種	2021年度 2022年度 2023年度	利用先URL(注1) https://www.jma.go.jp/jma/ishuou/info/param.html 利用先URL(注2) https://www.data.jma.go.jp/gho/ds/obs/obs_data/param.html/index.html 注3 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html 注4 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html	13			
	308	西暦	北太平洋における高緯度観測のモニタリング 沖縄、九州、四国、関東地方のモニタリングのモニタリングを行う。	観測機器	観測手段	観測地点	水温、塩分	北太平洋	1回/1日/船	気象庁	気象観測船等事業	700	新種	2021年度 2022年度 2023年度	利用先URL(注1) https://www.jma.go.jp/jma/ishuou/info/param.html 利用先URL(注2) https://www.data.jma.go.jp/gho/ds/obs/obs_data/param.html/index.html 注3 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html 注4 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html	13			
	309	西暦	観測船による海洋気象観測 国際的枠組みのもとアルフローードで、海洋内の水温を高精度で観測し、海洋の循環に、観測データを活用するデータを提供する。 地球環境観測・診断・予測技術高度化に関する研究(観測船による大気気象観測船の観測機器とそのデータ処理・高度化技術の開発手法を開発し、地球環境変化の観測機器の高度化を図る)。	観測機器	観測手段	観測地点	水温、塩分	北太平洋	1回/1日/船	気象庁	気象観測船等事業	700	新種	2021年度 2022年度 2023年度	利用先URL(注1) https://www.jma.go.jp/jma/ishuou/info/param.html 利用先URL(注2) https://www.data.jma.go.jp/gho/ds/obs/obs_data/param.html/index.html 注3 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html 注4 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html	14	世界気象機関(WMO)及びユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)の枠組と連携した取組		
	310	西暦	地球環境観測・診断・予測技術高度化に関する研究(観測船による大気気象観測船の観測機器とそのデータ処理・高度化技術の開発手法を開発し、地球環境変化の観測機器の高度化を図る)。	観測機器	観測手段	観測地点	大気中の温室効果ガス、気象、塩分、温室効果ガス、大気中の温室効果ガス、大気中の温室効果ガス、大気中の温室効果ガス	北太平洋	1回/1日/船	気象庁	気象観測船等事業	700	新種	2021年度 2022年度 2023年度	利用先URL(注1) https://www.jma.go.jp/jma/ishuou/info/param.html 利用先URL(注2) https://www.data.jma.go.jp/gho/ds/obs/obs_data/param.html/index.html 注3 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html 注4 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html	13			
	311	西暦	北極圏における観測船による高緯度観測 国際的枠組みのもとアルフローードで、海洋内の水温を高精度で観測し、海洋の循環に、観測データを活用するデータを提供する。 地球環境観測・診断・予測技術高度化に関する研究(観測船による大気気象観測船の観測機器とそのデータ処理・高度化技術の開発手法を開発し、地球環境変化の観測機器の高度化を図る)。	観測機器	観測手段	観測地点	水温、塩分	北極圏	1回/1日/船	気象庁	気象観測船等事業	700	新種	2021年度 2022年度 2023年度	利用先URL(注1) https://www.jma.go.jp/jma/ishuou/info/param.html 利用先URL(注2) https://www.data.jma.go.jp/gho/ds/obs/obs_data/param.html/index.html 注3 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html 注4 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html	14	世界気象機関(WMO)及びユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)の枠組と連携した取組		
	312	西暦	北極圏における観測船による高緯度観測 国際的枠組みのもとアルフローードで、海洋内の水温を高精度で観測し、海洋の循環に、観測データを活用するデータを提供する。 地球環境観測・診断・予測技術高度化に関する研究(観測船による大気気象観測船の観測機器とそのデータ処理・高度化技術の開発手法を開発し、地球環境変化の観測機器の高度化を図る)。	観測機器	観測手段	観測地点	水温、塩分	北極圏	1回/1日/船	気象庁	気象観測船等事業	700	新種	2021年度 2022年度 2023年度	利用先URL(注1) https://www.jma.go.jp/jma/ishuou/info/param.html 利用先URL(注2) https://www.data.jma.go.jp/gho/ds/obs/obs_data/param.html/index.html 注3 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html 注4 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html	14	世界気象機関(WMO)及びユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)の枠組と連携した取組		
	313	西暦	北極圏における観測船による高緯度観測 国際的枠組みのもとアルフローードで、海洋内の水温を高精度で観測し、海洋の循環に、観測データを活用するデータを提供する。 地球環境観測・診断・予測技術高度化に関する研究(観測船による大気気象観測船の観測機器とそのデータ処理・高度化技術の開発手法を開発し、地球環境変化の観測機器の高度化を図る)。	観測機器	観測手段	観測地点	水温、塩分	北極圏	1回/1日/船	気象庁	気象観測船等事業	700	新種	2021年度 2022年度 2023年度	利用先URL(注1) https://www.jma.go.jp/jma/ishuou/info/param.html 利用先URL(注2) https://www.data.jma.go.jp/gho/ds/obs/obs_data/param.html/index.html 注3 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html 注4 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html	14	世界気象機関(WMO)及びユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)の枠組と連携した取組		
	314	西暦	北極圏における観測船による高緯度観測 国際的枠組みのもとアルフローードで、海洋内の水温を高精度で観測し、海洋の循環に、観測データを活用するデータを提供する。 地球環境観測・診断・予測技術高度化に関する研究(観測船による大気気象観測船の観測機器とそのデータ処理・高度化技術の開発手法を開発し、地球環境変化の観測機器の高度化を図る)。	観測機器	観測手段	観測地点	水温、塩分	北極圏	1回/1日/船	気象庁	気象観測船等事業	700	新種	2021年度 2022年度 2023年度	利用先URL(注1) https://www.jma.go.jp/jma/ishuou/info/param.html 利用先URL(注2) https://www.data.jma.go.jp/gho/ds/obs/obs_data/param.html/index.html 注3 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html 注4 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html	14	世界気象機関(WMO)及びユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)の枠組と連携した取組		
	315	西暦	北極圏における観測船による高緯度観測 国際的枠組みのもとアルフローードで、海洋内の水温を高精度で観測し、海洋の循環に、観測データを活用するデータを提供する。 地球環境観測・診断・予測技術高度化に関する研究(観測船による大気気象観測船の観測機器とそのデータ処理・高度化技術の開発手法を開発し、地球環境変化の観測機器の高度化を図る)。	観測機器	観測手段	観測地点	水温、塩分	北極圏	1回/1日/船	気象庁	気象観測船等事業	700	新種	2021年度 2022年度 2023年度	利用先URL(注1) https://www.jma.go.jp/jma/ishuou/info/param.html 利用先URL(注2) https://www.data.jma.go.jp/gho/ds/obs/obs_data/param.html/index.html 注3 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html 注4 https://www.cdo.noaa.gov/ccads/obs/gho/ghoindex.html	14	世界気象機関(WMO)及びユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)の枠組と連携した取組		

第2期「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度(令和7年度)の我が国における地球観測の実施計画

第2期実施方針における対応項目	整理番号	再掲	実施方針に資する項目(取組の概要)	項目の属性			観測対象	観測手段	観測域・観測地点	観測頻度	所管庁名・観測名	事業名(予算費目)	令和7年度予算額(百万円)	令和7年度に実施予定の取組	新規/拡充	計画期間		データに関する問合せ先とURL	SDGs		備考欄
				観測	観測開始	観測終了										開始年度	終了年度		関連国連	関連目標	
	373	再掲	大気中のSLCPs/温室効果汚染物質など大気汚染物質の観測を行う国際宇宙ステーション搭載のSCOPE	○	○	○	大気汚染物質	衛星	全球	全球 11日に1回	観測者 [日]情報通信研究機構	宇宙機交付金の内訳	基礎的な研究開発		H24	-	https://apofo.nict.go.jp/	○	11.13	民間研究・文部科学省((日)海洋研究開発機構)	
	374	再掲	大気中のSLCPs/温室効果汚染物質など大気汚染物質の観測を行う静止衛星搭載のOMAP-ASIAや観測禁止高度(ORAなど)	○	○	○	大気汚染物質	衛星	アジア域	1時間:1回	観測者 [日]情報通信研究機構	宇宙機交付金の内訳	基礎的な研究開発		H24	-	https://apofo.nict.go.jp/	○	11.13	民間研究・文部科学省((日)海洋研究開発機構)	
	375		大気環境観測データ関係の化学輸送モデルによる解析・予測地とや航空機、衛星等による各種観測データを同化し、化学輸送モデルによる解析・予測結果について、国内外に情報提供を行う。			○					気象庁	気候変動対策業務	気候変動対策業務の内訳	引き続き化学輸送モデルによる解析・予測結果について、国内外に情報提供を実施する。				x			

NO